

## 事業概要

一般国道281号は、県北地域の沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路であり、物流や観光などの産業振興を支え、災害時の緊急輸送道路としての機能を有するなど重要な役割を担っています。

県では、東日本大震災津波以降、復興計画において一般国道281号を「復興支援道路」に位置づけ、重点的に整備を進め、管内では、平成29年11月に案内工区が開通し、今般、下川井工区が開通することとなりました。

当該箇所は、幅員狭小で急カーブが連続し、交通のあい路区間となっていました。今回の開通により、前後の整備済み区間と一体となって、安全で円滑な通行が確保され、緊急輸送道路としての信頼性を高めるとともに、幹線道路としての機能向上が図られるものです。

一般国道281号  
(復興支援道路)



出典) 岩手県東日本大震災津波復興実施計画(第3期)

## 整備概要

延長	1,160m
幅員	車道幅員 (全幅員)
	一般部 6.0 (12.0) m
	橋梁部 6.0 (12.0) m
	トンネル部 6.0 (10.0) m
	※全区間に片側歩道 2.5m
道路規格	第3種第3級
設計速度	60km/h
事業期間	平成28年度～令和3年度
全体事業費	約38億円
主要構造物	下川井トンネル 510.2m
	下川井1号橋 44.1m
	下川井2号橋 21.5m

## 整備効果

### 効果① 災害に強い道路ネットワークの構築

災害時は、救急・救命活動や救援物資輸送など、内陸から沿岸を結ぶ緊急輸送道路として重要な役割を担っています。今回の整備により、急カーブや落石等の危険箇所が回避され、災害に強い道路ネットワークの構築が図られます。

### 効果② 重要港湾久慈港や救急医療施設へのアクセス性向上

内陸部から物流拠点である重要港湾久慈港、第三次救急医療機関である県立久慈病院へのアクセス性向上により、物流の効率化などによる産業振興、救急搬送時における患者の負担軽減などの効果が期待されます。

### 効果③ 日常生活を支える安全・安心な通行の確保

冬期間は、道路除雪により車道幅が狭くなり、交通に支障が生じる場合がありますが、今回の整備では、道路除雪に必要な堆雪帯を確保するとともに、トンネル化によって、安全・安心な通行が確保されます。また、住家が連担する北側に歩道を整備し、歩行者の安全な通行を確保します。

### 効果④ 豊富な資源を有する県北地域の観光振興に寄与

三陸復興国立公園や久慈平庭県立自然公園など、県北地域が有する豊富な観光地へのアクセス性が向上し、観光振興に寄与することが期待されます。



重要港湾久慈港



三陸復興国立公園  
つりかね洞

## 久慈市山形町川井～戸呂町

